

山行報告書

作成:2012年7月17日

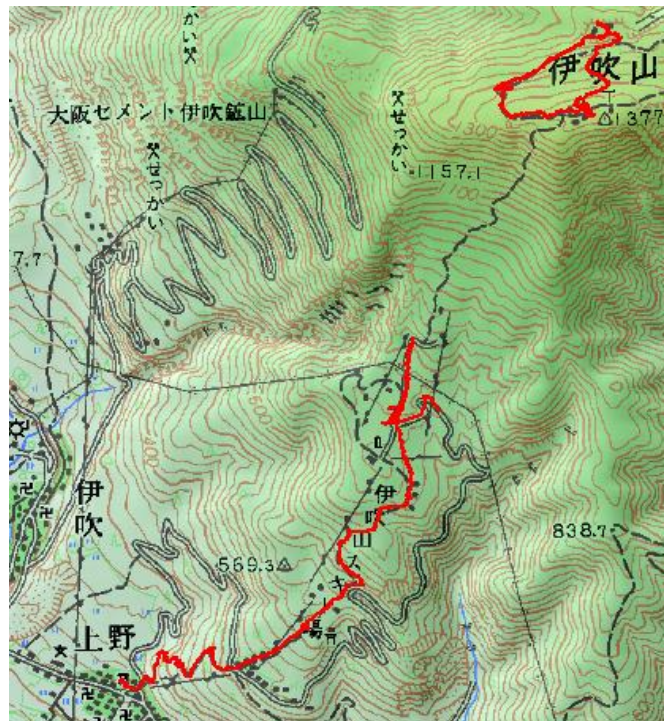
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	伊吹山	目的[方法]	フラワートレッキング
期間	2012年7月8(日)	形態	日帰り
参加人数	5人		

行動記録:

岡崎市民病院 P(500)=0:10=岡崎 IC(5:10)=0:50=関ヶ原 IC(6:00)=0:35=登山口(6:35,6:55)-0:45-1.5 合目くらい(7:40,7:50)-0:40-3 合目(8:30,8:55)-0:25-タクシーで下山(9:20)=0:25=登山口(9:45,9:55)=0:40=伊吹山ドライブウェイ山頂 P、昼食(10:35,11:15)-0:25-山頂(11:40,12:30)-0:25-伊吹山ドライブウェイ山頂 P(12:55,13:05)=0:10=温泉、食事(13:15,15:30)=0:10=関ヶ原 IC(15:40)=1:20=岡崎 IC(17:00)=0:10=岡崎市民病院 P(17:10)

概念図:



日誌:

登山口には1日500円の民間駐車場が数か所ある。この日の前日に、夜間蛍見物山行のイベントがあって、駐車場は半分くらい埋まっていた。トイレあり。

私たちは、登山口に車をとめて、タクシーで3合目へ行き、そこから歩き始める予定だった。

しかし、7時前ではタクシー会社が稼働しておらず、普通に登山口から歩いてスタート。早く上に行きたい気持ちを抑えつつ、ペース配分を考えてゆっくり歩く。木々の中の道は、前日の雨でぬかるんでいる。スキー場跡地の草原の道に出ても、登山道は溶けたチョコレート状態。花を見ながら歩きたいが、けっこう滑って転びそうになるので歩く方に集中した。ストックを使って慎重に歩く。1.5合目くらいの小屋の横で休憩。下の町が見えた。3合目手前で1名に股関節の痛み発生。リーダーが荷物をほとんど負担してくれたが、歩いていて痛みがあるので4合目で撤退。大事をとって、3合目にタクシーを呼んで下山。登山口に着くと、車に乗り換えて、伊吹山ドライブウェイで山頂へ。こちらには軽装な観光客がたくさんいる。山頂駐車場で真っ白なガスの中、昼食。そこから25分ほど歩いて頂上到着。頂上は登山者と観光者がたくさんいて、店やトイレもある。頂上で1時間ほど歩きながら痛みや歩き方を確認しつつ、花を見ながら散策した。でも、まだ花のハイシーズンではなさそう。昼の山行の花も、夜の山行の蛍も、あと1週間先のよう。

感想:

今回は、タクシーでの下山や、ドライブウェイを使っての登頂と、異例の山行となりました。人的アクシデントにも関わらず、それでも山行を楽しめる対応をしていただいたメンバーに感謝します。次は自力で登頂してみたいという楽しみができました。足にアクシデントが起きないよう、日ごろからのストレッチなどの体作りの重要性を痛感しました。